

iFree 新興国債券インデックス

<3316>

追加型投信／海外／債券／インデックス型

日経新聞掲載名：iF新興債

第3期 2019年7月5日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、新興国通貨建ての債券に投資し、投資成果をJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド(円換算)の動きに連動させることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。


第3期末	基準価額	11,545円
	純資産総額	3,040百万円
第3期	騰落率	6.9%
	分配金	0円

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

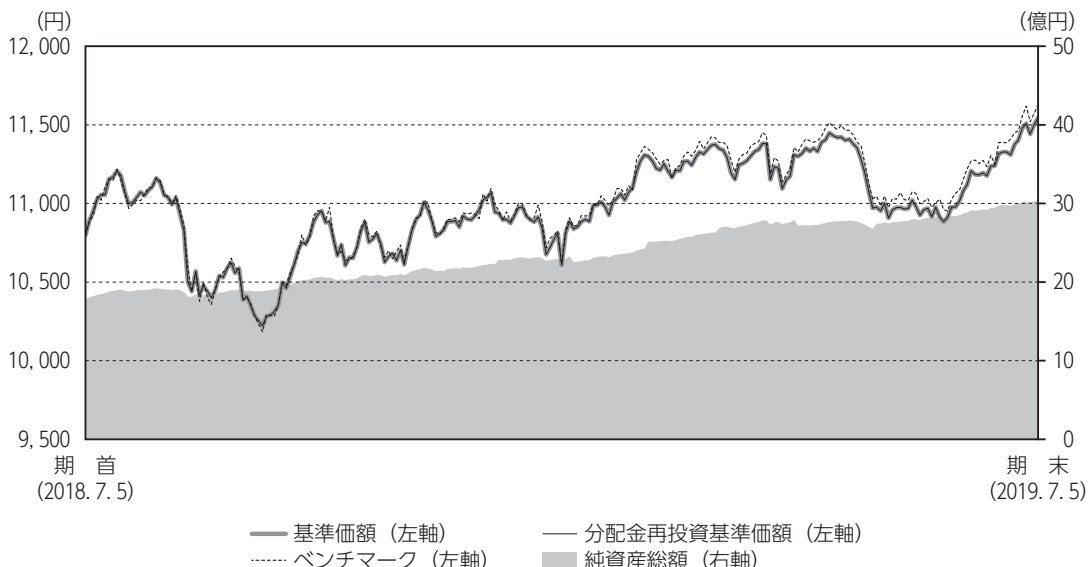
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* ベンチマークは、JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円換算）です。

基準価額・騰落率

期首：10,799円

期末：11,545円（分配金0円）

騰落率：6.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

為替相場において、多くの新興国通貨の対円為替レートが下落したことはマイナス要因となったものの、ほぼすべての投資対象国の債券価格が上昇（金利は低下）したことや、投資している債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 7. 6~2019. 7. 5)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	26円	0. 238%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 983円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0. 108)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0. 108)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 022)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	17	0. 155	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(16)	(0. 147)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	43	0. 393	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

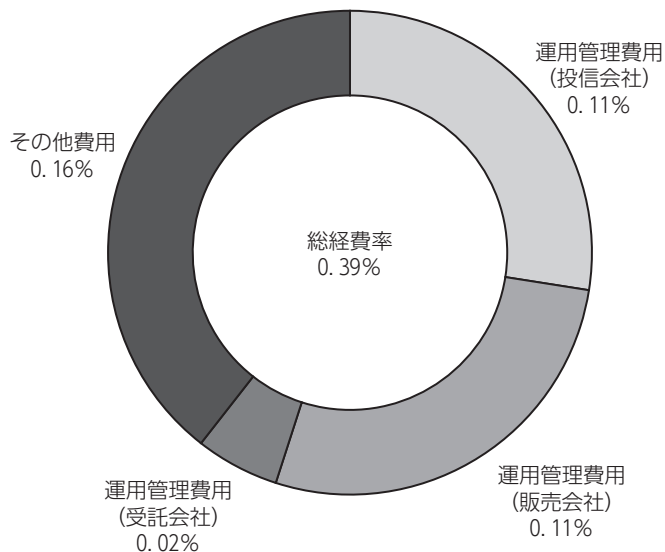
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.39%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、2016年9月7日を10,000として指数化したものです。

		2016年9月8日 設定	2017年7月5日 決算日	2018年7月5日 決算日	2019年7月5日 決算日
基準価額	(円)	10,000	11,395	10,799	11,545
分配金 (税込み)	(円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	14.0	△5.2	6.9
J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックスー エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (円換算) 騰落率	(%)	—	15.0	△4.3	7.7
純資産総額	(百万円)	1	638	1,789	3,040

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックスーエマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックスーエマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックスーエマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2018. 7. 6 ~ 2019. 7. 5)

■新興国債券市況

新興国債券価格は、おおむね上昇しました。

新興国債券市況は、2018年8月に、対米関係の悪化を起因としたトルコの金利が急上昇したことが新興国市場全体の投資家心理を悪化させ、多くの国で金利が上昇しました。個別国では、外国投資家による国債保有比率が高いインドネシアや米国により経済制裁が強化されたロシア、政権交代後に財政再建への期待感がはく落した南アフリカなどの金利が大きく上昇しました。10月には世界的に株価が下落し、新興国の金利は先進国に連動して低下しました。個別国では、ブラジルでボルソナロ氏が新大統領に当選し、新政権および年金改革への期待感から金利が低下しました。また、2018年末にかけて原油価格が下落したことも、新興国の経常赤字拡大懸念の後退を通して金利の低下要因となりました。2019年に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げ姿勢が後退しました。米ドル高観測による新興国市場からの資金流出懸念が後退したことや、多くの新興国でインフレ率が鈍化傾向となったことも、金利低下要因となりました。6月以降は、F R Bが利下げ姿勢に転じる中で世界的に金利低下が進みました。当作成期を通してみると、財政難とインフレ悪化が止まらず格付会社のS & Pグローバル・レーティングから格下げされたアルゼンチンのみ、金利が上昇しました。

■為替相場

新興国為替相場は、多くの通貨が対円で下落しました。

新興国通貨の対円為替相場は、2018年8月に、対米関係の悪化により急落したトルコ・リラをきっかけに投資家心理が悪化し、多くの新興国通貨が下落しました。2018年末にかけては、世界的に株価が下落しリスク回避的な局面となった一方で、原油価格が下落したことが新興国の経常赤字拡大懸念の後退を通して下支え要因となり、新興国通貨は横ばい圏で推移しました。2019年1月は、世界的にリスク選好的な局面となり、新興国通貨は上昇しました。しかし5月末にかけては、選挙イベントを控えた国が複数あったことや米中貿易摩擦の激化に伴う新興国経済への悪影響も懸念され、新興国通貨は下落しました。6月以降は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利下げ姿勢に転じる中、緩和的な金融環境を背景に新興国通貨は上昇しました。当作成期を通してみると、対米関係の悪化と統一地方選挙が懸念されたトルコや財政難とインフレ悪化が止まらず格下げされたアルゼンチン、政権交代後に財政再建への期待感がはく落し格下げ懸念がくすぶり続けた南アフリカ、政権交代の結果投資活動の後退が懸念されたマレーシアなどを中心に、多くの通貨が対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、「ダイワ新興国債券インデックス・マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、ベンチマーク（J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円換算））に連動する投資成果をめざします。

■ダイワ新興国債券インデックス・マザーファンド

今後も、ファンドの通貨比率をベンチマーク（J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円換算））に極力近づけ、かつ、ファンドとベンチマークの金利変動に対する価格感応度を近づけることにより、ベンチマークに連動する投資成果をめざします。

ポートフォリオについて

(2018.7.6～2019.7.5)

■当ファンド

当作成期を通じて「ダイワ新興国債券インデックス・マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、ベンチマークに連動する投資成果をめざしました。

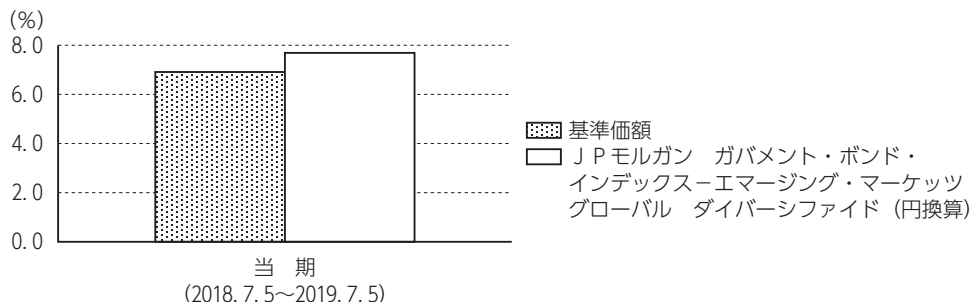
■ダイワ新興国債券インデックス・マザーファンド

新興国通貨建ての債券に投資し、ファンドの通貨比率をベンチマークに極力近づけ、かつ、ファンドとベンチマークの金利変動に対する価格感応度を近づけることにより、ベンチマークに連動する投資成果をめざしました。

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は7.7%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は6.9%となり、ベンチマークの騰落率を下回りました。これは、税金や売買に伴う費用などが主な要因です。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったことから、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年7月6日 ～2019年7月5日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,545

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、「ダイワ新興国債券インデックス・マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、ベンチマークに連動する投資成果をめざします。

■ダイワ新興国債券インデックス・マザーファンド

今後も、新興国通貨建ての債券に投資し、ファンドの通貨比率をベンチマークに極力近づけ、かつ、ファンドとベンチマークの金利変動に対する価格感応度を近づけることにより、ベンチマークに連動する投資成果をめざします。

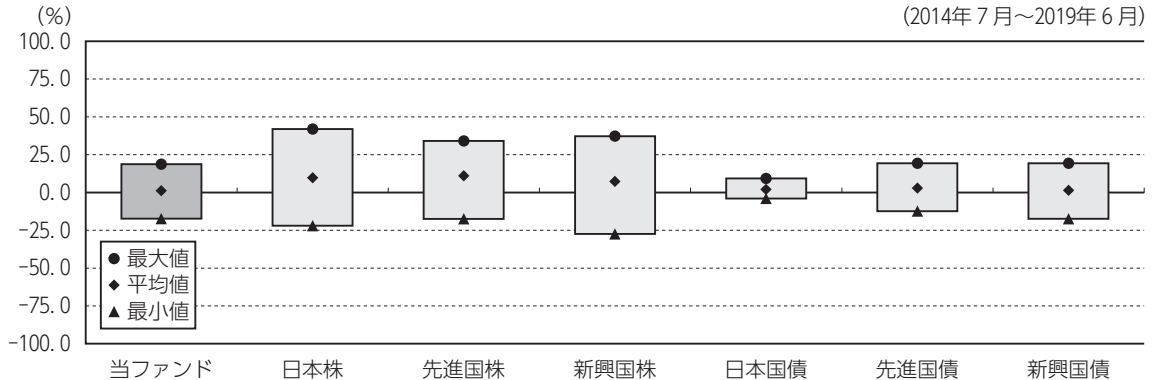


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	投資成果をJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円換算）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ新興国債券インデックス・マザーファンドの受益証券
	ダイワ新興国債券インデックス・マザーファンド	新興国通貨建ての債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、新興国通貨建ての債券に投資し、投資成果をJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円換算）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用の効率化をはかるため、債券先物取引等や外国為替予約取引等を利用することがあります。このため、債券の組入総額ならびに債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。また、外貨建資産の組入総額ならびに外国為替予約取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	18.7	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
平均値	1.1	9.7	11.0	7.3	2.0	2.8	1.4
最小値	△ 17.3	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI 国債

先進国債……………FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLC が有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



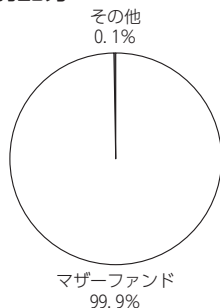
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

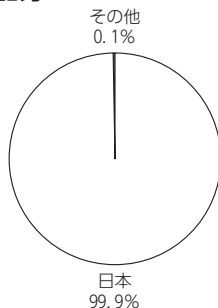
組入ファンド等

	比率
ダイワ新興国債券インデックス・マザーファンド	99.9%
その他	0.1

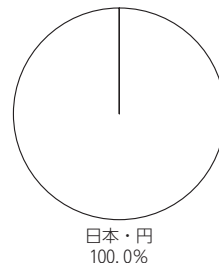
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2019年7月5日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当 期 末
	2019年7月5日
純資産総額	3,040,780,579円
受益権総口数	2,633,840,158口
1万口当り基準価額	11,545円

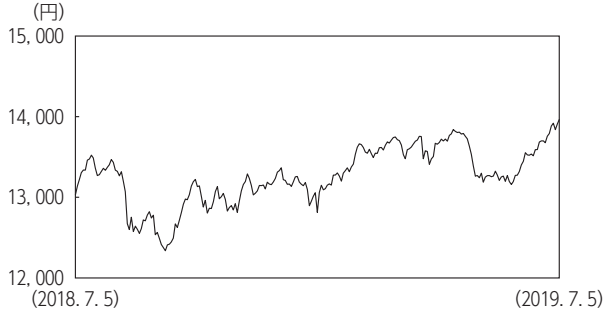
* 当期中における追加設定元本額は1,787,765,342円、同解約元本額は810,909,952円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ダイワ新興国債券インデックス・マザーファンド（作成対象期間 2018年7月6日～2019年7月5日）

■基準価額の推移



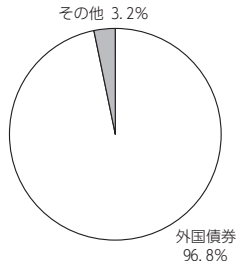
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	20 (20)
(その他)	(0)
合計	20

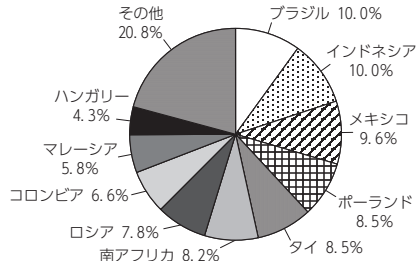
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F 10% 2023/1/1	ブラジル・レアル	2.4%
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 10.5% 2026/12/21	南アフリカ・ランド	1.5
Brazil Letras do Tesouro Nacional 2022/1/1	ブラジル・レアル	1.4
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F 10% 2027/1/1	ブラジル・レアル	1.4
Poland Government Bond 2.75% 2028/4/25	ポーランド・ズロチ	1.3
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F 10% 2025/1/1	ブラジル・レアル	1.2
Colombian TES 7% 2022/5/4	コロンビア・ペソ	1.2
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F 10% 2021/1/1	ブラジル・レアル	1.1
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 8.75% 2048/2/28	南アフリカ・ランド	1.1
Colombian TES 10% 2024/7/24	コロンビア・ペソ	1.1
組入銘柄数		205銘柄

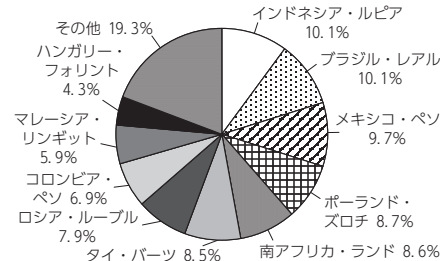
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。